

ユナイテッドが国内No.1 アプリ分析ツール「App Ape」導入 ～企業のDXをアプリ領域で手厚く支援～



アプリ分析ツール「App Ape（アップ・エイプ）」を手がけるフルー株式会社（本社：千葉県柏市、代表取締役：渋谷 修太・櫻井 裕基、以下 フラー）は、ユナイテッド株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 執行役員：早川 与規、以下 ユナイテッド）に国内最大級のアプリ分析ツール「App Ape」をご導入いただきましたことをご報告いたします。

App Apeのモバイルデータで、顧客のDXの道筋を可視化

ユナイテッドは、2021年3月期より「DXプラットフォーム事業」に注力しています。同事業において、ユナイテッドグループは数多くの自社サービスやアプリの開発・運営を通じて培った技術力やノウハウを活用し、社会のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進しております。同社の市場分析やベンチマーク分析にApp Apeを活用頂くことで、複雑なDXの道筋の可視化を支援してまいります。

▼App Ape導入の背景

ユナイテッドは、同グループ企業ブリューアス、フルーとDX事業を推進するための業務提携を行っており、App Apeは、同提携の目的である**アプリ開発・分析・改善の一気通貫でのサービス提供の一助**になるとご評価頂いたことから導入に至りました。

App Ape活用事例

①顧客の事業領域のモバイル活用度を可視化

DXを推進する場合には、自社だけではなく業界全体やユーザーのマインドがデジタルシフトすることが重要です。App Apeのアクティブユーザー分析を活用することで、顧客の事業領域において生活者がどの程度スマートフォンを活用しているか、その度合いが成長しているかの可視化を行い、その市場のデジタル化の重要性を判断頂きます。

②顧客サービスの課題・強みを相対評価

DXを推進していく上で重要なのは、顧客の自社データの分析、解釈です。自社サービスのユーザー数・滞在時間・継続率が適切か、もしくは課題があるのかという解釈は、他社との相対評価を行うことで初めて可能になります。App Apeのアクティブユーザー数、起動率分析、リテンション分析を活用頂き顧客サービスの課題をあぶり出すことで、DXで成果を出すための処方箋作りを効率化して頂きます。

ユナイテッドについて

■会社概要

会社名：ユナイテッド株式会社

住所：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル B1F（受付）・10F・12F

設立日：1998年2月

代表取締役社長 兼 執行役員：早川 与規

事業内容：DXプラットフォーム事業・インベストメント事業・アドテクノロジー事業・コンテンツ事業

公式ホームページ：<https://united.jp/>

App Apeとは？アプリユーザーを最も理解できるサービス

App Ape（アップ・エイプ）は、スマホアプリの実利用データを提供する、国内No.1*のアプリ分析サービスです。（*Fastask調べ）

テレビにおける視聴率情報のスマホ版のような位置付けで、どのアプリがいつ・誰に・どのくらい使われているかといったデータをご覧いただけます。データは国内のみならず、世界7カ国に対応しております。

スマホアプリの実利用データに加え、ストア情報や属性情報など横断的なデータを提供しており、市場・競合調査を始めとするアプリの企画・マーケティングに幅広くご利用いただけます。

アプリ開発会社や広告代理店・金融機関など、アプリに関わる法人・個人様にご活用いただいております、これまでに国内外5,000社以上の企業・団体様にご利用いただいております。

App Apeの詳細ページ：<https://ja.appa.pe/>



フルーについて

会社名：フルー株式会社

本店所在地：〒277-0871 千葉県柏市若柴178-4 柏の葉キャンパス 148-2 KOIL

設立日：2011年11月15日

代表者：渋谷 修太、櫻井 裕基

事業内容：アプリ分析支援事業、共創事業

URL：<https://fuller-inc.com>

本件に関するお問い合わせ先：広報窓口・丸七 pr@fuller.co.jp